

2019-12-19 kl

ロックミュージックの社 会問題に対する影響

↓
トル(?)

ダミー番号

トル

4年 オムニバス

2019年11月30日

目次

1. 概要
 2. 差別とブルースの関係性
 3. 人種の枠組みを超えたロックンロール
 4. 1960年代、ロックの出現による影響
 5. ウッドストックフェスティバル
 6. オルタモントの悲劇
 7. 1970年代 ロックミュージックの再起
 8. 1970年代以降の動き
 9. パンク・ロック
 10. まとめ
- 参考文献

歴史でしかない

チャリティ活動

1990~2019
の動きが
ほしい

→ “社会に対する影響” を書くべき

See p. 10, 11

5, 7,



1. 概要

本研究の目的はロックが世界の抱える様々な問題を解決するカギとなる可能性を秘めたものであることも知ってもらう事だ。

今現在の日本人の若者のロックに対する印象はチャライや、古い、のようなマイナスイメージがあるかもしれませんが、ここではロックの定義から始まり、ロックの popularity が高まった背景を追い、ロックが様々な社会問題（差別、戦争、産業社会化など）に対して大きな影響を及ぼしていた事実から、ロックに対する偏見やマイナスイメージを払拭して、ロックの可能性と展望について論じていきたいと思います。

長すぎ

その結論を書く

概要へ

2. 差別とブルースの関係

ることを

ブルースは黒人差別と深い関係があり、3. (人種の枠組みを超えたロックンロール)で述べる/ロックンロール(3.)ある。ブルースのルーツは1890~1900年にさかのぼる^[1]。

黒人の奴隷制度が撤廃されて、自由の身になったが差別と重労働はなくならなかった。しかし一日の終わりに僅かな自由時間ができ、その時間に無^なくならない差別、それによる憂鬱、本能、明日への希望を歌った。それが今現在まで続いている「ブルース」である。

ブルースは、端的にである^[1]。

{キーワード: 黒人, 差別, 希望, 歌}

3. 人種の枠組みを超えたロックンロール

1950年代に、ラジオでDJ アラン・フリードが、黒人音楽であるリズム&ブルースをロックンロールと呼んだ（人種によって音楽を分けない意味合いを込めて）^[3]。また、エルヴィス・プレスリー（白人の青年）や、ティーンエイジャーが出現した（大人たちの差別の価値観への反抗、自己の感性に忠実な若者）。

これら（の出来事）により黒人音楽は白人（主にティーンエイジャー）に聞かれるようになった^[4]。次第に黒人と白人の間にある壁は低くなっていった。

エルヴィスが与えた影響は分離政策のジム・クロウ法を押し返し、黒人と白人の間にある壁を低くした点で、「黒人公民権運動」とも連動していた。

→ もっと詳しく書けないか ◎

4. 1960年代、ロックの出現による影響

この節でのロックは3. (人種の枠組みを超えたロックンロール)で述べた「ロックンロール」とは分けて考える^[2]。

ロックとロックンロールの共通意識は、機械化によって機械が「神」のようになってしまった社会に対する反感や怒り、または移民たちの差別による居場所のないやるせなさを思い切り表現した点である。

「ロックンロール」の怒りとは若者たちが『本能的』に共感できる強烈なビートで表現されたものである。一方、「ロック」の怒りとは複雑さを増したサウンドと文学的修辞法や心理描写などを携えた歌詞の中で表現されたもので、『^{あり}理性的』である。

つまりロックは、ロックンロールの直感レベルの表現を理性レベルに引き上げた。

全角

5. ウッドストックフェスティバル

ウッドストックフェスティバルは、1969年8月にマックス・ヤスガーの農場で行われた「愛」と「平和」をテーマとしたフェスティバルである^[2]。

初めの開催（3日間）での来客数は40万人だった。（半数以上は入場料を払わなかったため、事実上無料イベント）^[4]。

（ゲイやレズビアンに対する性差別が1950～60年に禁じる法律がなかったため、ゲイやレズビアンという理由だけで逮捕や、凄まじい暴力を受け、殺人なども起きていた。それらのひどい事態に若者は反抗する。した ^{されたり} されたりすることもあった

ウッドストックフェスティバルの最中に暴力事件などがあったという報告は一度もなかったらしく、驚くほど大規模で平和な祭典だった。このフェスティバルは差別問題や反戦活動において大きな役割を果たした。^[]

{ もっと. 果たした役割を書く } ⊙

6. オルタモントの悲劇

ウッドストックフェスティバルが開催された1969年8月から4か月後の1969年12月に愛と平和と自由を掲げるオルタモントフェスティバルは開催された^が[↑]^[5]。ウッドストックフェスティバルに並んでロックの歴史において重要で大規模なフリーイベントである。

しかし、ウッドストックと打って変わり、オルタモントフェスティバルでは4人の死者を出してしまう悲惨な事態になってしまった。~~(なぜこんなことが起きてしまったかという)~~主催者側がフェスティバルの警備として雇った白人のバイカー集団のヘルズ・エンジェルズと観客の間でライブの最中に何度も衝突が起きていて^{た。}ある黒人の青年がステージに弾の入ってない銃を向けた時[↑]エンジェルズのメンバーが黒人の青年の背中にナイフを刺して袋叩きにして殺したらしい^[5]。この黒人の青年と白人のバイカー集団の間で起きた悲惨な事件は、時代を考えると1つの社会的問題が背景にあると考えることができる。^{[1]?}黒人公民権運動が盛んな時代^{あり、}で黒人労働者階層は白人労働者階層のライバル的存在になっていた。黒人公民権運動に最も反発を感じていたのは白人労働者階層だったので[↑]間接的にこの悲惨な事件が起きてしまったのではないかと福屋[1]は言っている

Good!

筆者

る。私もこの時代背景を考えると黒人差別が完全になくなっている

と考えるのが難しいのでそういった原因もある可能性は非常に高いと思

う。

考える

マタハ

考えられる

{“筆者”は書かないで}

7. 1970年代ロックミュージックの再起

~~1970年~~、¹⁹69年のオルタモントの悲劇の影響があり、^{1970年に}ウッドストックやオルタモントのような大規模なフリーフェスティバルは行われなくなり、反戦活動や平和を求めて抗議する若者も少なくなった。 []

また巨大化した音楽市場はより万人に受け入れられやすいポップミュージックが主流になってきて、ロックミュージシャンの大半は音楽業界の第一線から外れた。その状況下でロックミュージシャンたちは環境保護運動や社会的弱者の救済活動に実践を見出していった。 []

{ ここをもっと書くとよい } ⊙

以降に?
?

8. 1970年代以降の動き

チャリティ活動

うようにな

を行った。[]

ツメル

は、1970年代から

ロックミュージシャンのチャリティー活動で有名なのは1971年

8月にロック史上初めてのチャリティーコンサートは元ビートルズ

のジョージ・ハリスンとシタール奏者のラヴィ・シャンカールの2

人が主催した『バングラデシュ救済コンサート』だ。エリック・ク

ラプトンやボヴ・ディランなど豪華アーティストがギャラで出

ンティなし

演した大変貴重なコンサートだ。であった

また日本でも1977年にジャクソン・ブラウンや泉谷しげる、細野晴臣などが出演した『鯨を救おうコンサート』が行われたことも

ef.

が

あった。[] 21世紀に入った) 2001年9月11日に世界貿易センターへ

↑ アメリカの

のテロに対しての民衆の報復攻撃の大合唱が起きた時にも「平和の

大切さ」を訴える運動を起こした。[]

もっと詳しく



{これは 10. にすべきであろう。
(1970年代ではないから.)}

9. パンク・ロック

1975年にイギリスで、世界中のロックの精神的な勢いが衰えていく流れに対して、ロックのワイルドな原初的パワーを取り戻そうとする爆発的なムーブメントが起こった。そのムーブメントを起こしたのが「パンク・ロック」である。

代表的なバンドは「セックス・ピストルズ」である。このバンドの歌詞は政府や王室、大手レコード会社などの恣意的で権威的な存在を片端からボロクソにこき下ろす内容であった^[6]。パンクの思想としては「社会秩序を破壊する」であり、~~この~~社会秩序は社会に悪い影響を及ぼしていることを意味している。^{という思想？ [6]}
^{表現？}

10. まとめ

どんな混乱や社会問題だったとしてもロックミュージシャン達は「ロックのメッセージ性」やどうにかしようという「想い」を崩さずに立ち向かった。たとえ、その行動がオルタモントの悲劇のような失敗と思える事でも次の何かの成功に繋がっている。現在までの偉大なミュージシャンたちの行動する「姿勢」に筆者は感銘を受けた。元々 ~~ロックミュージック~~ 好きなのでこの ~~題にしたので~~ より深く掘り下げることができた。そしてこの論文がきっかけでロックに関心を持つ人がいたらとてもうれしいです。

おとがき

を

参考文献

[1] 福屋利信, ロックンロールからロックへ, 近代文芸社, 2012-

06-15

[2] 矢口誠, ウッドストックがやってくる, 河出書房新社, 2009.

[3] やんすうブログ, <https://yansue.exblog.jp/17346621/>, 投稿日時

2013-02-21, 閲覧日 2019-11-20.

{タイトル}

[4] ~~ロックは演奏で決まる~~, 投稿日時 2006-06-04, 閲覧日 2019-

11-20, <http://rock-cd.info/history/1969woodstock.html>.

{たれか, }?

[5] megmick, ~~投稿日時~~ 2012-03-03, 閲覧日 2019-11-20,

<https://yaplog.jp/boogie/archive/81/yaplog/>.

{タイトル}

[6] サエキけんぞう, ロックとメディア社会, 新泉社, 2011.